

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	4 環境にやさしい港			24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取り組みの方向性)			責任者	企画調整室 環境担当課長
基本施策名	05 人と自然にやさしい港湾環境づくり							
個別施策名	17 良好な港湾空間を維持・創出する			事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7819 計画担当
事務事業名	02 海浜計画の策定(港湾計画の策定)			継続	拡大	維持		
目的	海浜計画を策定し、港湾計画に位置づけ、事業化につなげます。						事業 期間	平成17~25年度 ※「その他特記事項」
概要	名古屋港における海浜の現状分析を行い、他の施設計画との整合を取りながら、港内における海浜の配置を検討します。						根拠 法令等	港湾法第3条の3
							実施 義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	名古屋港基本計画の方針を踏まえ、港湾計画の策定に向けた関係者調整等、具体的な検討を引き続き実施する予定です。						関連 シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	名古屋港基本計画のパブリックコメントを実施し、基本計画の方針、施策展開について示した。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	0	7,350	7,549	34,720	13,498	63,117	(款項目節) 歳出:企画調整費/調査費/企画調査費/委託料 (算出計算式)
一般会計	千円	0	7,350	7,549	34,720	13,498	63,117	
事業会計	千円							
その他	千円							(その他)
人員費 計	千円	858	3,138	3,189	4,619	4,380	16,185	事業費については、港湾計画改訂にかかる費用を一式で計上しており、港湾計画の策定にかかる各事務事業シートでは同額を計上しています。(環境影響評価にかかるものを除く)
正規職員	人	0.10	0.37	0.37	0.53	0.50		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計	千円	858	10,488	10,738	39,339	17,878	79,302	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	最終目標	25	備考(指標の算定方法など)
港湾計画の策定手続きの進捗状況(工程)	目標	0.7	2.0	1.0	1.6	4.5	(累計)	7	以下の変更手続きにおける実施工程数を合計します。①基本計画の作成、②予測・検証、③基本計画に関する意見募集、④再予測・再検証、⑤委員会による合意形成、⑥名古屋港審議会への諮問・答申、⑦国の交通政策審議会への諮問・答申及び公示
	実績	0.2	0.2	0.2	0.6	0.5			
	達成率(単年度%)	28.6	10.0	20.0	37.5	11.1			
	達成率(累計%)	21.4	24.3	27.1	35.7	42.9			
策定進捗率(%)	目標	10.0	28.6	14.3	22.9	64.3	(累計)	100	平成25年度に作業工程を見直し(5工程→7工程)、目標値の修正、進捗率(実施工程数÷予定工程数)の再計算を行いました。
	実績	2.9	2.9	2.9	8.6	7.1			
	達成率(単年度%)	29.0	10.1	20.3	37.6	11.0			
	達成率(累計%)	21.4	24.3	27.1	35.7	42.9			
平成25年度までを総括した必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>						※港湾計画の策定については、新たな国の政策効果による経済状況の変化をはじめ、港湾運営の民営化、国際競争力・産業立地競争力の強化等の港湾関連の取組や、港湾利用者の新たなニーズを踏まえ、これまでとりまとめた基本方針、施策展開などの検証を行い、平成27年度に名古屋港基本計画検討委員会を再開して港湾計画の改訂を目指していきます。	
	利用者のニーズは高いか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	本組が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>						昨年6月に閣議決定された新たな成長戦略や総合物流施策大綱、国際コンテナ戦略港湾政策を踏まえるとともに、パブリックコメントの意見等も考慮し、長期的視点やソフト面の充実を含め、将来動向を見極めながら計画内容を検討することとしたため、成果目標に達しておらず、進捗が遅れています。	
	目標を達成したか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	個別施策へ貢献したか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>						港湾計画は、港湾法により港湾管理者が定めなければならないとされており、実施主体として適正です。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							

4 ACTION(取組)

	事務事業	成果	コスト	判断理由
個別施策評価結果による今後の取り組みの方向性	延伸・統合			・社会情勢の変化等を踏まえ、これまで取りまとめた基本方針や施策展開等の検証を行ってため。(H25→H27に延伸) ・港湾計画の策定に係る事業として統合。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				

社会情勢の変化等を踏まえ、これまで名古屋港基本計画検討委員会で取りまとめた基本方針や施策展開等の検証を行っていきます。